

越知町バイパス開通



国土交通省土佐国道事務所は17日、高知県越知町の国道33号「越知道路」の2工区（越知丙—越知丁、全長3キロ）のうち、バイパス区間1.8キロが6月10日に開通すると発表した。バイパスは、土砂災害の危険箇所を迂回（うかい）し、災害による通行止めリスクが低減する。

6月に開通するのは、連続雨量が250ミリに達すると通行止めになる国道33号の事前通行規制区間（越知丙—仁淀川町橋、全長25キロ）の起点（越知町越知丙）から越知丁に至るバイパス区間。仁淀川を渡る横倉大橋（195メートル）と立花大橋（170メートル）を新設し、現国道の対岸に横畠トンネル（962メートル）を抜いている。片側1車線で、設計速度は60キロ。（参照：2023年2月18日高知新聞）

●まとめ

中古戸建・マンションの需要は続いています。高知県西部との従来が容易になることで、広範囲で住居をお探しになる方が今後増加すると考えられます。穴吹不動産流通では、豊富な取引事例、過去の販売実績より相場価格を分かりやすくご説明し、専門知識を有する営業スタッフが初回面談からお引渡しまで一貫してサポートさせていただきます。お気軽にご相談ください。